

玄海原子力発電所 4 号機  
原子炉容器照射試験片

輸送計画書

令和 5 年 7 月

九州電力株式会社

## 目次

1. 概要	1
2. 輸送区間	1
3. 輸送期間	1
4. 輸送品目	2
5. 輸送容器	2
6. 輸送要領及び輸送体制	2
7. 添付資料	4
添付-1：輸送容器の形状、寸法概略図	5
添付-2：輸送時における異常事態時の連絡体制表	6

## 1. 概要

九州電力株式会社 玄海原子力発電所 4号機の原子炉容器照射試験片（サーベイランスキャプセル）を玄海原子力発電所から MHI 原子力研究開発株式会社まで輸送する。

なお、原子炉容器照射試験片（サーベイランスキャプセル）の取扱いに使用した上部駆動装置も併せて輸送する。

## 2. 輸送区間

一般道路と高速道路を使用して運搬する。

輸送元： 九州電力株式会社 玄海原子力発電所  
佐賀県東松浦郡玄海町大字今村字浅湖 4112-1

輸送先： MHI 原子力研究開発株式会社  
茨城県那珂郡東海村舟石川 622 番地 12

## 3. 輸送期間

発送年月日： 2023年8月7日（月）

到着年月日： 2023年8月9日（水）

4. 輸送品目

(1) 原子炉容器照射試験片 (サーベイランスキャプセル内に封入)

a. 数量 1本

b. 放射能量  $1.45 \times 10^{11} \text{Bq}$

5. 輸送容器

容器 No.	No.1
輸送物の区分	A 型
寸法(mm)	$\phi 1084 \times 3243$
重量(kg)	容器のみ・・・約 9600 架台込み・・・約 11000
材質	SUS304
密閉性	Oリング, ボルト締めによるステンレス製密閉容器

(1) 容器表面における線量当量率

容器 No.	No.1
線量当量率	2mSv/h 以下 (3 $\mu\text{Sv/h}$ ) ※

※ ( ) 内は評価値

(2) 容器表面 1m 離れた位置における線量当量率

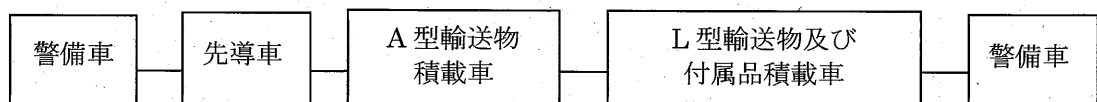
容器 No.	No.1
線量当量率	0.1mSv/h 以下 (1 $\mu\text{Sv/h}$ ) ※

※ ( ) 内は評価値

6. 輸送要領及び輸送体制

(1) 輸送車列

隊列は下図に示す通り、先導車 1 台、A 型輸送物積載車 1 台、L 型輸送物及び付属品積載車兼後衛車 1 台、及び警備車 2 台の合計 5 台にて隊列を編成し運行する。各車は簡易無線機を備え、輸送中に編成内の連絡が取れる状態とする。

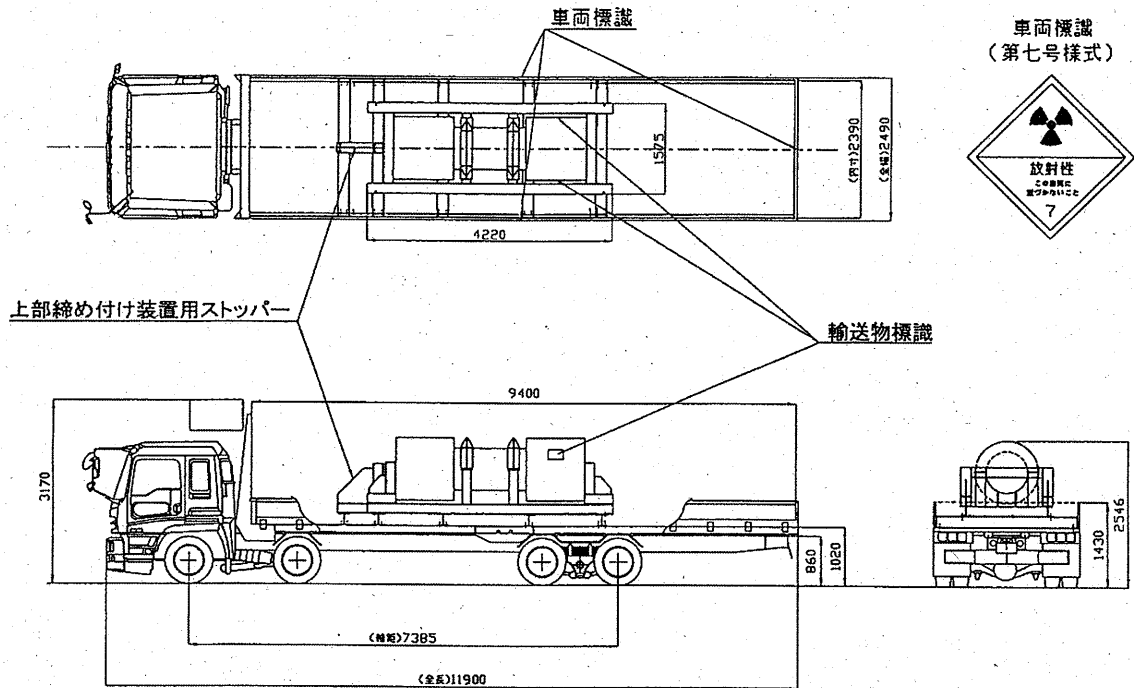


(←進行方向)

(2) 輸送車両

車両	備考
14 tトラック	原子炉容器 照射試験片 (サーベイランスキャプセル)

### (3) 積載概要



### (4) 輸送体制

統括者：三菱重工業株式会社  
責任者：株式会社 上組

### (5) 輸送中は関係する法令等に定められている事項を遵守する。

#### ①輸送物に貼付する標識及び表示

##### a. A型輸送容器

輸送物の表面に第二類黄標識を2か所貼付けることとするが、標識選定は実測に基づいて適切な種類の標識とする。

#### ②重量・型式の表示

##### a. A型輸送容器

輸送容器表面に「A型」又は「TYPE A」の文字及び総重量の表示を行う。

#### ③荷送人の表示

輸送物表面に荷送人又は荷受人の名称及び住所の表示を行う。

#### ④輸送車両に貼付ける標識・その他

輸送車両の両側面及び後方の見やすい箇所に標識（第七号様式）を表示する。  
また、輸送車両の前方及び後方に赤色灯を設置し、夜間においてはこれを点灯する。  
(A型輸送物積載車のみ)

### (6) 輸送物は車両の荷台上に一段積みとし、移動及び転倒防止対策を施した後、輸送する。

### (7) 積込作業開始から輸送終了時点まで輸送責任者が同行し、輸送物がみだりに開封されな

いよう管理する。

(8) 休憩時及び点検等で車両を離れる場合は見張人を配置する。

(9) 輸送を万全に行う為、また非常時における緊急措置並びにその際の放射線管理を行うための物品を輸送責任者が携行する。

## 7. 添付資料

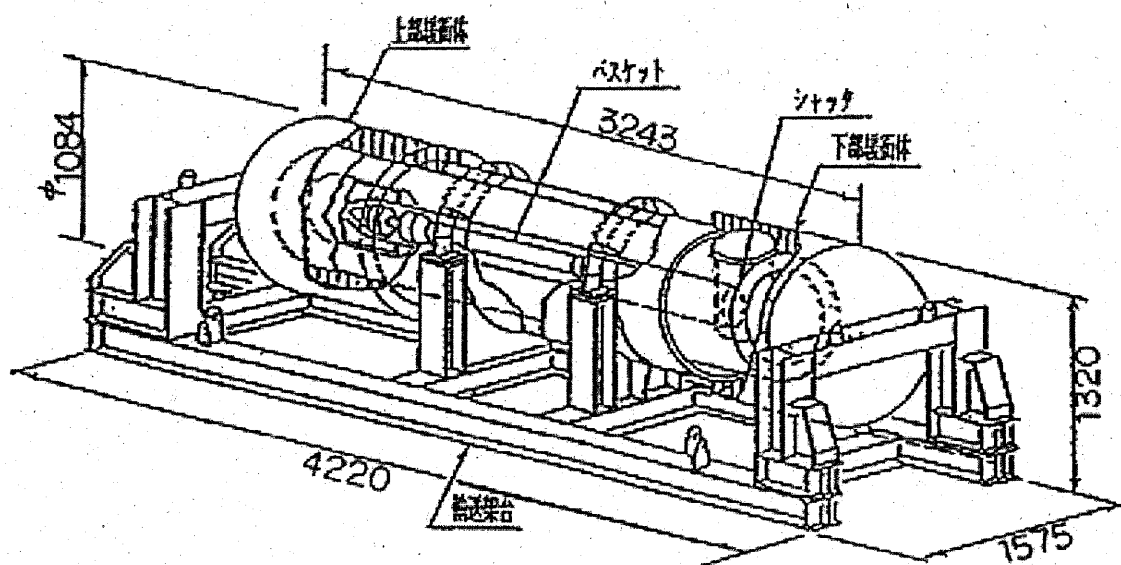
添付-1：輸送容器の形状、寸法概略図

添付-2：輸送時における異常事態時の連絡体制表

### 輸送容器の形状、寸法概略図

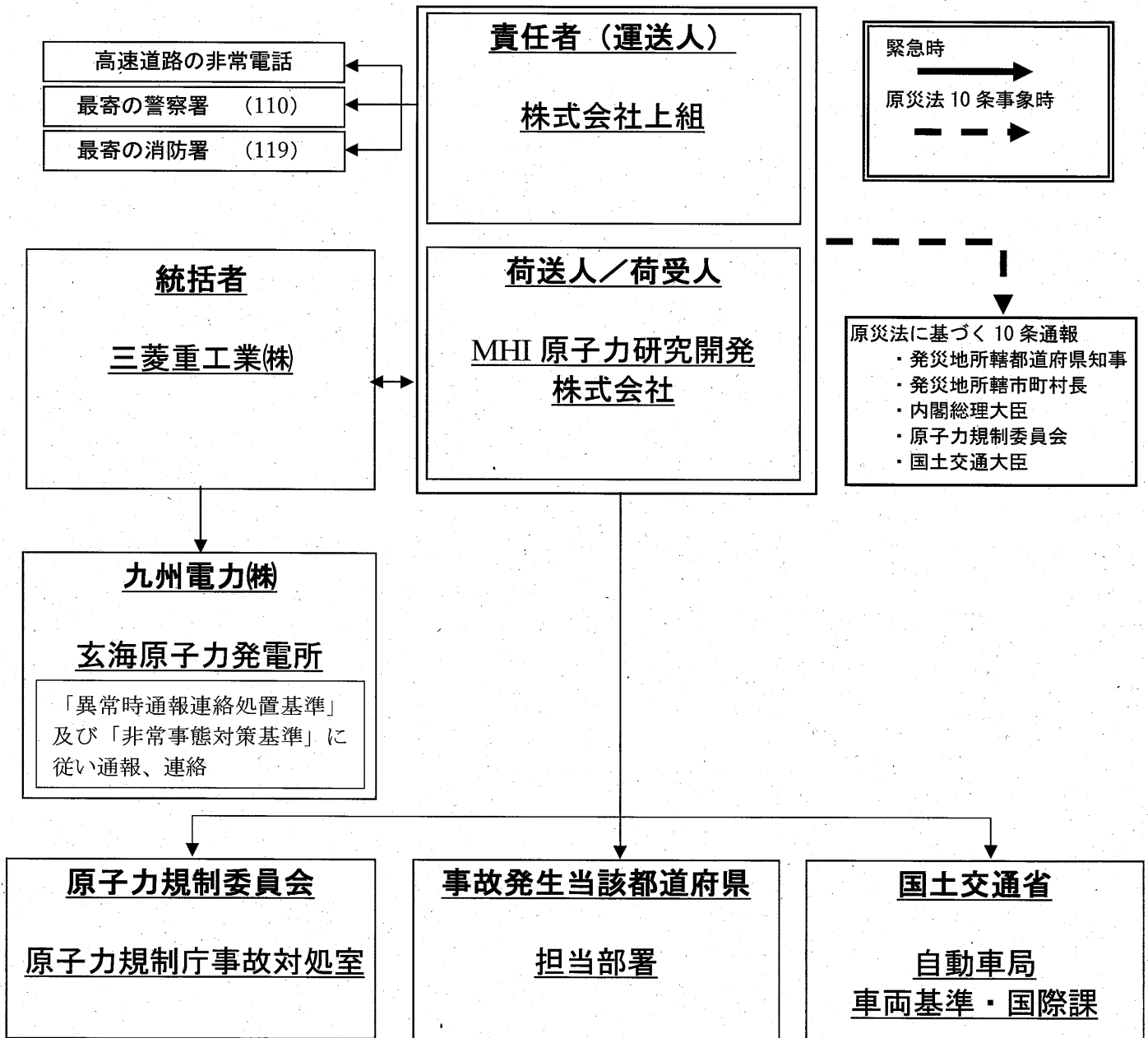
- 型式 A型輸送容器
- 材質 SUS304
- 重量 約 9.6 t (架台込 : 約 11 t)

### 輸送容器全体



(単位 : mm)

輸送時における異常事態時の連絡体制表



注 異常事態発生時の連絡を速やかに行うことを目的として、  
連絡が行えない場合に連絡先をバイパスして連絡する等の方策を確実に実施する。